

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

平成 29 年度事業分

平成 30 年 7 月作成

伯耆町教育委員会

目 次

○はじめに	1
○教育委員会の活動状況	2
○点検と評価の方法	6
○伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート	9

■はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」ことが法第26条第1項に規定されており、これに基づき、前年度における伯耆町教育委員会の事務の管理及び執行状況について、点検及び評価し、その結果をとりまとめたものです。

○点検及び評価の目的

伯耆町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価することによって、課題や取り組みの方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進を図るものです。

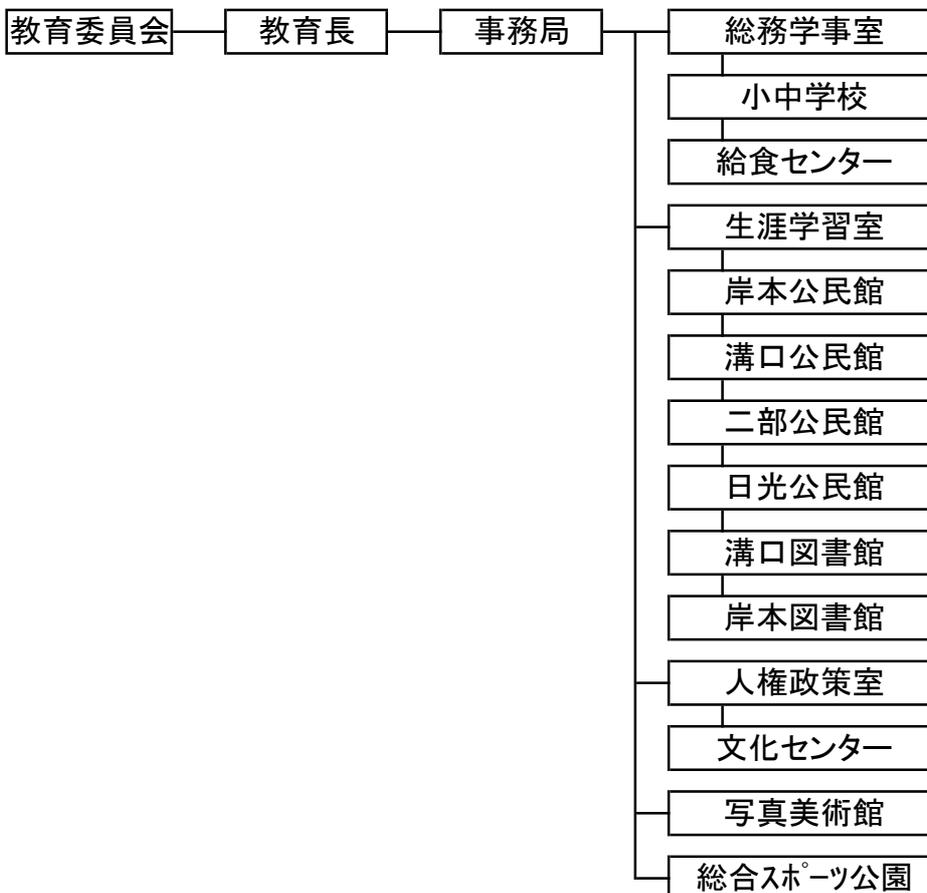
○点検及び評価の対象

伯耆町教育委員会が平成 29 年度に取り組んだ主な事務・事業を対象とします。

○伯耆町教育委員会委員名簿(平成30年4月1日現在)

教育長	後 藤 弥
教育長職務代理	仲 倉 玄 雄
委 員	大 木 寿 之
委 員	松 岡 和 代
委 員	濱 田 真 代

○教育委員会の組織図



■教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況

開催日	会議別	案件区分	案件名
4月18日	定例会	報告	教育長報告
		議事	平成29年4月1日付け伯耆町教育委員会事務局職員の人事異動及び非常勤特別職員の任命の専決処理について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		その他	次期学習指導要領について
		その他	事務連絡
5月16日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	学校校務分掌主任等の任命について
		議事	学校評議員の委嘱について
		議事	学校関係者評価委員の委嘱について
		その他	今後の部活動の在り方について
		その他	事務連絡
6月2日	定例会	報告	写真美術館事業進捗状況
		報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	伯耆町スポーツ推進審議会委員の任命について
		議事	平成29年6月1日付け伯耆町教育委員会事務局職員の人事異動及び非常勤特別職員の任命の専決処理について
		協議	平成29年度教育委員会補正予算の原案について
		協議	平成29年度6月定例町議会の教育委員会関係提出資料について
		その他	事務連絡
7月18日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	6月定例議会等提出案件の結果について
		報告	西部地区総体結果について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	人権擁護委員候補者の推薦について
		その他	標準学力調査結果をもとにした取組みの検証と
		その他	事務連絡
8月7日	臨時会	議事	平成30年度に使用する小学校教科用図書の採択について
8月24日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定

		報告	県中学総体等の結果について
		議事	特別支援教育奨励費の支給の認定について
		協議	伯耆町営住宅条例に一部改正について
		協議	平成29年度教育委員会関係補正予算(第2号)の原案について
		協議	平成28年度教育委員会関係予算の決算の原案について
		協議	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について
		その他	全国学力・学習状況調査結果の公表について
		その他	事務連絡
9月27日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	平成29年度全国学力・学習状況調査結果について
		報告	9月定例議会提出案件等の結果について
		議事	伯耆町いじめ防止基本方針の改定について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	総合教育会議について
		その他	事務連絡
10月27日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	校区外就学について
		議事	特別支援教育奨励費の支給の認定について
		議事	伯耆町立小中学校管理規則の一部改正について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		その他	働き方改革緊急提言、学校における業務改善方針について
		その他	事務連絡
11月28日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	校区外就学について
		協議	平成29年度教育委員会関係補正予算(第4号)の原案について
		協議	平成29年度12月議会の教育委員会関係提出資料について
		その他	事務連絡
12月26日	定例会	報告	スポーツ公園事業進捗状況
		報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	12月定例町議会の教育委員会関係提出案件等の結果について
		報告	西部就学支援委員会審査結果について
		報告	校区外就学取り下げについて

		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		その他	平成30年度伯耆町教育に関する要望書について(PTA協議会)
		その他	平成30年度当初予算編成に係る要望について(校長会)
		その他	事務連絡
1月24日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		その他	「HK30プラン」セカンドステージについて
		その他	市町村立学校別県平均値との有意差判定について
		その他	事務連絡
2月23日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	伯耆町教育振興基本計画の策定について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	伯耆町立公民館条例の一部を改正する条例について
		協議	平成29年度教育委員会関係補正予算(第5号)の原案について
		協議	平成30年度教育委員会関係当初予算の原案について
		協議	平成29年度3月定例町議会の教育委員会関係提出資料について
		その他	平成29年度伯耆町教育委員会表彰について
		その他	平成29年度小中学校卒業式と平成30年度小中学校入学式について
		その他	事務連絡
3月12日	臨時会	議事	平成30年度伯耆町立小中学校の教職員の人事異動内申について
3月23日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	伯耆町立公民館規則の一部改正について
		議事	鳥取県西部地区教科用図書採択協議会の設置について
		議事	学校運営協議会を設置する学校の指定について
		議事	学校運営協議会委員の任命について
		協議	平成30年度伯耆町学校教育基本方針について
		協議	平成30年度社会教育計画について
		その他	平成30年度伯耆町教育に関する要望書の回答について
		その他	各種委員会等への当て職の取り扱いについて
		その他	事務連絡

開催回数		14
案件数	報告件数	33
	議案件数	28
	協議件数	16
	その他件数	25
	合計	102

2. 教育委員会関係会議・事業等

(1) 教育委員研修会・会議

- 市町村教育委員会研究協議会
- 中国地区教育委員会連合会研修会
- 鳥取県市町村教育委員会委員研究協議会総会・研修会
- 西部地区町村教育委員会連絡協議会総会・研修会
- 西部町村教育広域連携事業推進研修会

(2) 学校関係事業・行事

- 学校計画訪問 全小中学校
- 運動会・体育祭 全小中学校
- 学習発表会・文化祭 全小中学校
- 入学式・卒業式 全小中学校
- 教職員着任式・離任式

(3) その他

- 総合教育会議(1回)

平成 29 年度 主要事業の点検評価

当該年度に取り組んだ、主要な事業について、事務の執行状況とそれに対する点検・評価の結果を報告する。

□点検と評価の方法

平成 29 年度の教育委員会所管の業務のうち、次の点検・評価対象事業の成果と課題等について、教育委員会事務局による点検・評価を行い、この結果に対して、社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長、小中学校PTA会長、スポーツ推進審議会委員、地域学校協働本部実行委員及び教育委員に意見等を求めた。

□点検・評価対象事業

伯耆町教育振興基本計画の事業展開方針に基づき、29年度に取り組んだ事業を対象とする。

1. 学校教育関係事業基本方針「社会の一員として自立して生きてゆく児童生徒の育成」

(1) 学校・家庭・地域の連携

①教育の原点である家庭教育力の向上

- ・家庭と学校の連携強化
- ・家庭学習の手引の活用推進及び利活用方法の周知徹底
- ・生涯学習事業や子育て対策事業との連携 など

②地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組みづくり

- ・学校支援地域本部事業
- ・コミュニティ・スクール推進事業
- ・スクールガードリーダー事業
- ・青少年育成伯耆町民会議との連携 など

(2) 保・小・中の滑らかな接続

①一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の改善

- ・幼保小接続推進事業
- ・小中学校教員・児童生徒の交流
- ・中学校教員の小学校への派遣
- ・定期的情報交換会の実施 など

(3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進

①確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- ・学力向上施策の推進
- ・人権・道徳、食育、体験学習、郷土学習など人間力育成教育の推進
- ・スポーツの啓発
- ・ALTの配置
- ・学力調査の実施 など

②発達段階に応じた、きめ細やかな指導体制の充実

- ・特別支援学級及び就学支援体制充実
- ・学校運営の改善支援
- ・学習支援員の配置
- ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー配置 など

(4) 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備

①教員の資質向上と一人一人の子供に教員が向き合うための環境整備

- ・教職員研修の充実
 - ・専門家の活用などによる小中学校への的確な指導助言の実施
 - ・少人数学級の継続
 - ・学習支援員の配置
 - ・学校図書館職員の配置 など
- ②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備
- ・学校施設整備
 - ・学校配置方針の決定
 - ・学校事務共同処理 など

2. 社会教育関係事業基本方針 「学び続けるための基盤づくり」

(1) 生涯を通じて学ぶための環境の整備

①生涯学習の推進

- ・社会教育施設の改修・修繕と空公共施設の有効活用
- ・公民館を核とした住民活動の支援と関係課との連携
- ・生涯学習情報の積極的な発信
- ・公民館活動のさらなる充実と参加者の増
- ・地域指導者の発掘
- ・図書館の利用促進と読書活動の推進
- ・成人団体の育成 など

②生涯スポーツの推進

- ・関係課と連携した健康事業の推進
- ・スポーツ関係団体の育成及び活動支援
- ・体育施設の維持修繕及び利用促進
- ・各種スポーツ大会の実施 など

(2) 町全体で取り組む青少年の健全育成

①町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備

- ・青少年育成伯耆町民会議、こども会育成連絡協議会等関係団体の活動支援
- ・PTA協議会等との連携強化と活動支援
- ・青少年によるボランティア活動の推進
- ・地域指導者の発掘 など

②家庭教育の充実

- ・「共育」環境づくり
- ・放課後子ども教室の設置
- ・スクールガードリーダーの配置
- ・学校や関係課と連携した子育て教室等の開催 など

(3) 人権尊重のまちづくりの推進

①人権教育・人権啓発の推進

- ・明るいまちづくり懇談会の充実等教育・啓発活動の推進
- ・人権教育・啓発推進協議会の活動支援
- ・相談業務の拡充
- ・個別計画に基づく事業の推進 など

(4) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造

①文化財の保存と活用

- ・文化財調査及び文化財保護
- ・文化財教室等の開催

- ・郷土学習の支援
- ・情報発信、周知活動の充実 など
- ②地域芸術文化の振興
 - ・伝統行事や地域文化活動の開催等支援
 - ・文化施設の維持修繕及び利用促進
 - ・芸術文化活動の発表の場づくり
 - ・芸術文化団体・人材の活動支援と活動の周知 など

2. 評価方法

(1) 評価記号の説明

評価記号	説明
◎	・新規に企画された事業で目標が達成された事業
○	・継続事業で目標が達成された事業 ・新規に計画された事業で目標がほぼ達成された事業
△	・継続事業で目標がほぼ達成された事業 ・新規に計画された事業で目標達成が不十分な事業
▲	・継続事業で目標達成が不十分な事業 ・新規に計画された事業で目標がほとんど達成されなかった事業
●	・実施しなかった事業又は目標がほとんど達成されなかった事業

※新規事業は、継続事業よりも企画・調整・準備等に多くの時間・労力を要するため評価を高くしています。

(2) 評価基準

「(1) 評価記号」の説明	達成値
「目標が達成された」	90%以上
「目標がほぼ達成された」	70%以上 90%未満
「目標達成が不十分」	50%以上 70%未満
「目標がほとんど達成されなかった」	30%以上 50%未満
「実施しなかった」	30%未満

(3) 目標達成の判断基準

- ◇ 事業が目標の趣旨に沿って行われたかどうか
- ◇ 予算執行が適切な時期までに行われたかどうか
- ◇ 会議、イベント等が適切な時期に行われたかどうか
- ◇ 年度当初に作成された実施計画等に予定された事業が実施されたかどうか
- ◇ イベント等の講師・指導者の選定が適切になされたかどうか
- ◇ イベント等の広報宣伝が適正になされたかどうか
- ◇ 会議、大会等の案内状の発送が適正になされたかどうか
- ◇ 参加率の向上のための手立てが適正になされたかどうか
- ◇ その他不適切な部分がなかったかどうか

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(1) 学校・家庭・地域の連携	① 教育の原点である家庭教育力の向上	1	伯耆町教育振興会事業・地域教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<p>・「夏休みのお楽しみ」に参加することによって、校外の児童の姿を見ることができたり、日光地区での現地研修に参加する事で、地域への理解を深めたりすることができた。</p> <p>・地域とともにある学校づくりフォーラムにおいて、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部についての周知を行った。</p> <p>・今後は、専門部会のあり方を見直して、参加者を増やすような活動づくりを行う必要がある。</p>	△	継続事業ほぼ達成70%以上 又は新規事業達成不十分50%以上
		2	家庭学習の手引き配布事業	総務学事	小学校1年生から中学校3年生までの発達段階に応じた家庭学習や正しい生活習慣について、解説した「家庭学習の手引き」を小学校新入学生に配布する。	<p>・小学校入学生への配布の際に、就学前から中学校卒業を見据えたHP掲載の3冊(前期編・中期編・後記編)の紹介も行い、活用を促した。</p> <p>・学年懇談、学級懇談の中で、話題として取り上げる内容に関連するページを印刷して配布した。</p> <p>・保育所・小中学校との、「自分からすすんで学ぶ子どもを育てる」という目標を共有した一層の連携が必要で、繰り返しの活用啓発を要する。</p>	△	継続事業ほぼ達成70%以上 又は新規事業達成不十分50%以上
	② 地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組みづくり	3	学校運営協議会運営事業	総務学事	学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を導入し、保護者・地域・学校が一体となって、学校経営に参画し、地域に開かれ、地域に根差した学校づくりに取り組む。	<p>・学校運営協議会未設置の岸本中・二部小について文科省調査研究校(H28.29)として設置に向けての準備が完了した。また、協議会設置校は、年6～7回の会にて学校運営方針等を協議し、保護者や地域の声を学校運営に反映させることなど、活発な議論がなされた。</p> <p>・H30からは、全小中学校でコミュニティスクール導入となる。その際、新たにCSディレクターを配置し、保護者や地域住民の声を学校経営に反映させ、子どもの豊かな育ちの創造に努める。また、保護者・地域住民へのコミュニティスクールへの周知、参画意識の拡大に向けた工夫について検討していく。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(1) 学校・家庭・ 地域の連携 (つづき)	② 地域全体で 子どもを育 み、地域が学 校を支える仕 組みづくり (つづき)つづ き)	4	学校支援地域本 部事業	生涯 学習	地域住民が教育に関心を持ち、学校の教育活動に関わることで、子供たちに多様な体験と交流の機会を提供し、確かな学力と人間力を向上させる。大人にとっても、新しい仲間づくり、生きがいづくりなど、地域の絆づくりに繋げる。 H30からは、地域学校協働本部事業と名称を変更して、より学校と地域との連携構築に取り組んでいく。	①支援実績 ・学習支援 270件 ・環境整備 23件 ・学校行事 19件 ・児童生徒による地域貢献活動 238件 ②会議 ・地域教育協議会 1回 ・実行委員会 4回 ・コーディネーター定例会 10回 ③研修 9月15日 学校支援ボランティア研修会 10月27日 中国・四国地区社会教育研究大会鳥取県大会 11月10日 県コミュニティ・スクール推進研修会兼学校支援ボランティア研修会 ④学校支援活動成果報告・交流会(2月3日)	・課題として新規ボランティアの開拓、コミュニティ・スクールとの連携	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		5	子供の体験活動 事業	岸本 公民館	夏休みを中心に、学校、地域と連携し、子どもたちを対象に自然体験、創作活動等多様な学習機会を提供する。 事業の企画にあたっては、町内の関係機関と調整し、保護者への案内も一つの冊子で行い、好評を得ている。	・学校、地域、公民館教室等の連携をもとに、自然体験、文化活動などの体験を通して子どもたちの協調性や社会性の醸成を図った。 ・夏休み公民館教室協力事業は、13回の開催で延べ163名の参加、岸本公民館主催及び連携事業では、菓箱作り、お弁当クッキング、県の施設見学など、4回の開催で延べ68名の参加があった。 ・土曜日のお楽しみでは、4回の開催で延べ62名の参加があった。	・県の施設見学は4館合同実施で、申込が短期間で定員に達するほど好評だった。受付方法に何件か不満の声があった。 ・公民館教室協力事業は16回企画したが、2教室3回は、申込ゼロまたは申込後キャンセルにより中止となった。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				溝口 公民館	・学校・地域・公民館教室等の連携をもとに、自然体験、郷土学習、文化活動などの体験を通して子ども達の協調性や社会性の醸成を図り、強くたくましく生きる力を持った子どもの育成を図った。高齢者教室の学園生や公民館各教室・同好会、また地域の方々に協力していただき、世代間交流の推進を一層促進した。 夏季休業中に16事業(前年9)、冬季休業中に3事業(前年3)、中学生ボランティアの協力を呼びかけ、土曜事業として親子料理教室等4事業(前年4)開催し、延べ372名(前年236名)の親子・子供たちが有意義なひと時を過ごした。また、夏休み・冬休み・土曜事業とは、別に、成人講座に子どもたちを含めた事業を行った。	・子どもたちの興味関心を喚起する工夫も大切にしながら、是非子どもたちに体験してもらいたい日本の伝統的文化など(お茶・生け花・書道・料理等)は継続発展させて取り組んでいきたい。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
				二部 公民館	<p>・学校・地域・公民館教室の連携をもとに、自然体験、ものづくり活動、地域歴史体験などを通して、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図ることができた。また、森のようちえんの子どもたち・保護者及び二部地域で活動している団体(つくしの会、二部梁山泊、だんだんプロジェクトなど)と協力しながら事業を開催し、大いに交流を図ることができた。</p> <p>引き続き地域の多様な組織と連携し、交流・学習の機会を提供していきたい。 実施回数:12回 延べ参加人員:501名</p>	<p>・地域住民・子供・保護者・学校など連携した事業の実施が徐々にできており、引き続きこうした連携事業を推進していきたい。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				日光 公民館	<p>・学校・地域・公民館教室等の連携をもとに、自然体験や文化活動などの体験を通じて、子ども達の協調性や社会性の醸成を図ることができた。土曜日のお楽しみでは8名、夏休みのお楽しみ事業等では、2事業、39名の参加があり、特に溝口小学生の「冬みつけ」(参加者66名)では日光の大自然を体験してもらえたと感じた。</p> <p>・日光地区協議会の主催事業である大山日光清流まつり(参加者200名)を開催し、ヤマメのつかみ取りなどの自然体験や地区住民の交流と合わせて義方校区の親子との交流を深めた。</p> <p>・地区住民や日光地区協議会と連携し、日光の特色を生かした事業内容を工夫するとともに参加者が増えるような取組を検討をしていきたい。</p>	<p>・学校・地域・公民館教室等の連携をもとに、自然体験や文化活動などの体験を通じて、子ども達の協調性や社会性の醸成を図ることができた。土曜日のお楽しみでは8名、夏休みのお楽しみ事業等では、2事業、39名の参加があり、特に溝口小学生の「冬みつけ」(参加者66名)では日光の大自然を体験してもらえたと感じた。</p> <p>・日光地区協議会の主催事業である大山日光清流まつり(参加者200名)を開催し、ヤマメのつかみ取りなどの自然体験や地区住民の交流と合わせて義方校区の親子との交流を深めた。</p> <p>・地区住民や日光地区協議会と連携し、日光の特色を生かした事業内容を工夫するとともに参加者が増えるような取組を検討をしていきたい。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		6	子供の体験活動 事業	総務 学事	<p>各学校で独自の取組みを行っているほか、学校支援地域本部事業と連携し、地域の協力を得ながら、体験活動を実施している。</p>	<p>主な活動 ○作物・米・花の栽培 ○職場体験 ○遠足、大山登山の協力 ○スキー教室など</p> <p>・体験活動としては定着してきているが、体験を通してどのような資質・能力を養うのかについて再検討していく必要がある。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		7	家庭教育支援事業	生涯 学習	<p>家庭教育力の向上や子どもたちがマナー・自立心等を身につけるための支援を行う。</p>	<p>・保育所、中学校の保護者を対象にした家庭教育・子育て講演会、研修会を支援(二部保、溝口保、ふたば保、溝口中)</p> <p>・家庭教育講演会(11/25)「子どものためにできること～センス・オブ・ワンダー」(矢部敏明氏)の開催 参加者83名</p> <p>・子育て支援講演会(2/7)「うちの子最高」(熊丸みつ子氏)の開催 参加者30名</p> <p>・今後も保育所・小中学校、家庭教育支援チームとの連携を図り、親育ちの観点で取組を推進する。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(2) 保・小・中の 滑らかな接 続	① 一貫した理 念に基づく保 育所・小学 校・中学校の 連携・接続の 改善	8	伯耆町教育振興 事業 ・保小中一貫教育	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出 先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置し て、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の 教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区を単位とした授業研究会への相互参加、小中合同研究会、情報交換 会を開催し、児童・生徒の実態をもとにした共通の取組をすることができた。 ・中学校区によって課題は異なるものの、児童・生徒の交流活動を増やすこと、 教職員の情報交換や共通実践を絞ることが必要。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		9	伯耆町教育振興 会事業 ・就学支援	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出 先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置し て、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の 教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの中学校区で、保・小・中の子どもたちが交流する教育内容を授業の 一環として計画的に位置づけ、実践した。(溝口中校区12回、岸本中校区14回) ・教研式の知能検査に係る研修を行い、個別の支援や合理的配慮につなげる視 点を理解して今後に生かす手立てとした。 ・引き続き交流会においては双方にとって行う意義を再確認し、内容・日程等、子 どもの発達・必要な資質能力を培う視点での吟味をしていく。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
1-(3) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進	① 確かな学 力と規範意 識、豊かな心 と健やかな体 を育む教育	10	小中一貫学力・人 間力定着促進事 業	総務 学事	町教育の振興を図るため、教員の教師力向上 や学校運営開発等の研修を行う。また、各学校 の授業改革のための研修と夏期学力補充教 室、家庭教育講演会等を行い、児童生徒の学 力定着と保護者への家庭教育の大切さに関す る意識づけを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招聘し、校内授業研究会が充実するとともに、校種をこえて他校の 研究会に参加する教職員が増えてきた。 ・『保小中一貫カリキュラム』を活用した授業づくりについて、先進地域から講師を 招いての研修会を計画的に行うことができた。 ・授業研究会および学力補充教室の取組が児童・生徒の学力向上の成果として 表れていない実態を改善する必要がある。 	△	継続事業ほぼ 達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上
		11	教材、教具、教育 備品及び教育施 設整備事業	総務 学事	各学校における教材・教具・備品の整備を行う ことで、多様化する教育に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校児童生徒数に応じた予算配当を行い、必要な教材・教具・備品を整備し た。また、H29から新たに管理備品について予算確保し学校に配当し、劣化した 備品等の更新等を行った。 ・引き続き、必要な教材・備品等を整備し、多様化する教育に対応していく。また 備品整備については、予算の早期執行を学校に促していく。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		12	外国青年招致事 業	総務 学事	岸本中学校と溝口中中学校にALTを1名ずつ配 置し、生徒の英語能力の向上に資する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校にALTを配置して英語活動を支援するとともに、中学校区の小学校に も定期的に派遣し、国際理解教育を支援した。また、公民館の英会話教室での 講師、広報誌にALT通信を載せる等、地域における国際理解の啓発に寄与し た。 ・引き続き、生徒の英語能力の向上と国際理解のためALTを配置する。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
		13	運動部活動推進事業	総務学事	地域の専門的指導者を部活動指導に派遣し、部活動の活発化、生徒の技能向上、地域との連携の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動部活動推進事業(県事業)を活用し、岸本中学校で柔道部、溝口中学校で剣道部、柔道部の外部指導者派遣を行い、専門的指導等を実施した。 ・引き続き、専門性のある部活について県事業を活用し、外部指導者派遣を実施し、部活動の活性化、生徒の技能向上に努める。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		14	特別非常勤講師配置事業	総務学事	地域の専門的知識を有する者を県教委に内申し、特別非常勤講師として配置してもらい総合的な学習の一部やクラブ活動を担当させることで、学校教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・岸本小4名、八郷小2名、二部小4名、溝口小2名の推薦を受けて配置した。各自の技能を活かし、授業の充実が見られた。 ・県教委の予算制限により、希望時数が全て満たされたわけではなかった。学習支援ボランティアの活用を進める必要がある。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		15	伯耆町教育振興会事業 ・人権教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センター、学習会を授業でどのように扱うかについて検討を進めた。 ・人権教育主任会を中心とした研究大会の運営が定着した。二部保育所、二部小学校の取組を全職員で共有することができた。 ・文化センター、学習会に関する授業の方向性について検討を継続する必要がある。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		16	青雲寮管理運営事業	生涯学習	溝口中学校生徒の冬期間の寮として使用していた青雲寮を、町内社会体育団体の合宿や通学合宿に利用するとともに、適切な施設の維持管理及び運用に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・溝口小学校が学校の事業として、「立志キャンプ」を実施、教育委員会では、通学合宿事業の場として活用した。 ・調理設備、トイレなど使い勝手の悪いものもある、今後の利用頻度等を考慮しながら施設整備について検討する必要がある。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		17	伯耆町教育振興会事業 ・学校保健	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食調べ等を活用して、保育所および学校における食育の重要性および食事マナーの定着について共通理解ができた。 ・食育を含めた生活習慣改善の取組につなげる。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(3) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進(つづ き)	① 確かな学 力と規範意 識、豊かな心 と健やかな体 を育む教育 (つづき)	18	栄養教諭による食 指導	給食セン ター	栄養教諭1名、要望による加配職員1名の計2名 で栄養指導を行い、学校給食を通じて食育の 推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスのとれた給食を食べることにより、食事の楽しさ、食事の基礎知識の学習など、児童生徒が食事の大切さを学んだ。児童生徒に地元食材を食べてもらうことで、食育の推進を図った。また、各学校と連携を図り、生産者やセンター職員と児童との交流給食を実施し、生産者との交流、食材に対する感謝の気持ちが育まれた。食育の日や給食週間を中心に交流給食を年9回実施。 ・栄養教諭が11月下旬から産休に入ったが、代替職員が約2か月間不在となり、その間、学校栄養職員が1人であったため、その期間は学校に出かけることが殆どできなかった。平成30年度は代替職員及び加配職員の2名体制であるため、学校指導等に力を入れていく。 	△	継続事業ほぼ 達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上
		19	学校給食施設管 理運営事業	給食セン ター	安心・安全な学校給食を提供するため、給食セン ターの適切な管理を行った。また、老朽化・損 傷した備品について、更新を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から調理業務等の民間委託を実施した。 ・各種細菌等検査の実施 ・清掃・衛生の徹底 など ・給食用コンテナなど老朽備品の更新 ・調理委託事業者から報告があった調理備品の不具合修繕 ・年間給食配数 184,242食 ・平成30年度は、長寿命化・衛生環境改善のため施設改修を行う。 ・施設改修により、アレルギー食対応室を設置するため、アレルギー対応マニュアルを、関係職員の意見を聞きながら作成していく。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		20	学校給食費補助 事業	給食セン ター	給食費の保護者負担を軽減するため、1食につ き100円の補助を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者負担の軽減と安定的な給食の供給が図られた。 補助額15,511,700円 ・平成30年度も引き続き、1食当たり100円の補助を行い、保護者負担の軽減を図っていく。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		21	食材供給連絡協 議会との連携	給食セン ター	伯耆町内の農業生産者で構成する組織である 食材供給協議会と連携しながら、伯耆町産の 食材使用に努めた。	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会との調整会議を月1回開催 ・伯耆町産使用率【鳥取県調査対象の44品目(野菜だけでなく、魚介類等も対象)のみの割合】 39.7% (前年度37.5%) ・町内産のみで賄えた主な食材 米、白菜、じゃがいも、メロン、わらび、りんご、ゆず等 ・町内産食材の使用率の一層の向上 ・協議会会員の高齢化等に伴い、会員数が徐々に減少。町内生産者の拡大を図ることが必要(H29は3名が新規加入)。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
② 発達段階に応じた、きめ細やかな指導体制の充実		22	スクールソーシャルワーカー活用事業	総務学事	いじめや不登校など児童生徒の問題行動を環境面から解決するために、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係者・関係機関が協力して、児童生徒の抱える課題解決にチームで取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・有資格者(社会福祉士)及び教OBをSSWとして配置し、学校・関係機関と連携・情報共有し、問題を抱える児童生徒の個別の状況や問題点の把握・確認、支援方針の確立等、支援を行い課題の解消につなげた。 ・ケース会議数 教職員: 20 関係機関含: 30 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		23	特別支援教育支援員配置事業	総務学事	特別支援学級に在籍する児童生徒の内、日常的に介護等が必要な児童生徒と通常学級に在籍するLD、ADHD、アスペルガー症候群等の児童生徒に対する学習支援、安全確保等を行うことで担任と児童生徒が安心して授業に取り組める環境を整備し、教育効果を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・岸本小3名、八郷小3名、溝口小2名、二部小1名、岸本中2名、溝口中1名の学習支援員を配置し、個別の学習支援を行った。また、岸本中の2名の内1名は、国外からの帰国子女に対して、日本語指導のために配置をし、適応に努めた。 ・近年、学習支援員の確保に苦慮しており、年度当初からの配置ができないことがある。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		24	教育支援センター運営事業	総務学事	溝口体育館内に設置した教育支援センターにおいて、不登校等の児童生徒への学習支援や生活指導を行った。また、いじめや友人関係などの悩みを抱える児童生徒・保護者の相談活動を行い、不登校・問題行動等の未然防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・通級生徒 中学生6人(内さくらんぼ1名)、小学生1名 ・学習指導員1名、相談員2名を配置 ・月に1回定例会を開催してSSWとの情報共有を図り、該当校との連携に努めた。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		25	少人数学級実施事業	総務学事	小中全学年30人学級の実施によりきめ細やかな教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・岸本中 2学年:2学級⇒3学級、3学年:2学級⇒3学級 定員4名増 ・溝口中 1学年:1学級⇒2学級、2学年:1学級⇒2学級 定員3名増 ・上記により、学習指導、生徒指導の両面で教育効果をあげている。特に中学校においては、進路実現に大きな効果を与えている。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		26	就学援助事業(要保護、準要保護)	総務学事	生活保護、生活保護に準ずる者、非課税・母子家庭等を対象とし、金銭的に生活が苦しい保護者に対し教育費(学用品、給食費)を援助することで、保護者の教育を受けさせる義務の遂行を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度認定:95名(59世帯) ※昨年に引き続き、母子、父子家庭が半数以上を占める(40/59)。 ※区域外就学者の申請は、町外からの越境5世帯6名。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(3) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進(つづ き)	② 発達段階に 応じた、きめ 細やかな指 導体制の充 実(つづき)	27	就学援助事業(特 別支援教育就学 奨励金)	総務 学事	特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援することで金銭的負担を軽減し、義務教育の遂行を支援する。	平成29年度認定：21名(20世帯) ※世帯の収入・世帯員によりⅠ～Ⅲ区分に分ける。なお、区分により支給対象経費が異なる。 ※支給額は、要保護・準要保護の2分の1程度。 ・引き続き、特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援し、金銭的負担の軽減を図る。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		28	中学校区の児童 生徒を語る会	総務 学事	小中の連携した支援体制の確立、不登校及びいじめ問題等の未然防止のため、各中学校区児童生徒を語る会を開催し、関係者の情報交換と未然防止のための協議を行う。	・中学校区ごとに、児童生徒を語る会(小中学校担当教員、SC、SSW、教育委員会指導主事等参加)を開催し、育ちを見据えた関係者による情報共有といじめ問題等の未然防止のための協議及び連携した支援体制の構築に努めた。 岸本中校区：各学期2回、溝口中校区：各学期1回 ・不登校及びいじめ問題等の問題が大きくなる前の予防的連携・早期連携の重要性を再確認し、校区、SC、SSWとの連携を強化する。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		29	就学支援検討会	総務 学事	小中学校就学について、支援が必要と考えられる子どもに対して、関係機関が連携し、環境を整備することによって就学後の学校不適應などの2次障害を防止する。	・早い段階での関係機関による連絡会議開催で、対象児童の状況把握行つたうえで、複数回の観察会、5歳児検診・相談を経て就学支援検討を行った。 ※保→小16件、小→中16件の事案について対応・支援 ・「個別の教育支援計画」の活用充実を図り、本人・保護者の思いに寄り添った適切な就学支援につなぐ。 ・保小の接続においては支援引継シート等で必要な情報が確実に伝わる工夫を行う。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
1-(4) 安全安心で 質の高い教 育を支える教 育環境の整 備	① 教員の資質 向上と一人 一人の子供 に教員が向 き合うため の環境の整 備	30	学校評価研修会	総務 学事	学校運営の一層の充実・改善を図るため、学校管理職等の教職員、学校関係者評価委員、学校運営協議会委員を対象に研修を実施する。	・学校管理職等研修会 6月実施 (講師：府中市教育委員会事務局 大川幸雄主幹) ・教職員、保小中一貫教育とコミュニティ・スクールの視点で学校経営マネジメントを行うことについて研修を行い、各学校の取組に資することができた。 ・保小中一貫教育とコミュニティ・スクールを併せて推進するための学校経営マネジメントについてさらに理解を深める必要がある。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		31	学校図書整備及 び図書館司書配 置	総務 学事	各小中学校に司書教諭補助職員を配置し、学校図書館を利用した学習の充実や子供たちの読書活動推進に寄与する。	・司書教諭補助職員として学校司書を全小中学校に配置し、司書教諭及び学級担任、教科主任等と連携しながら児童生徒の学習を支える学校図書館づくり、読書活動推進に努めた。 ・児童生徒の学校図書館利用を多面的に見つめ、活字離れの解消につなぐ魅力ある環境づくり、読書活動の推進に努める。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		32	教職員研修会(全教職員対象)	総務学事	学校教育の諸課題に対応できるよう教職員の資質向上を図るため、本町独自の研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・悉皆研修:町教振研究大会 7月 (講師:名城大学教育センター 曾山和彦 教授) ・希望研修:小中一貫授業力向上研修会 2月 (講師:奈良市教育委員会事務局 高崎恵美 指導主事) ・上記の研修により、特別な配慮を必要とする児童・生徒の理解が進んだ。また、一部の教職員ではあるが、小中一貫した英語教育の授業づくりのイメージを持つことができた。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		33	学校要請訪問、学校随時訪問	総務学事	各学校の校内授業研究会での指導助言や授業参観・授業評価及び学校長への指導助言を目的として学校訪問を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内授業研究会、小中合同研究会に可能な限り参加し、研究推進の進捗を見取るとともに、教職員への指導助言を行うことができた。また、管理職との協議の中で、各学校の研究推進への助言を行うことができた。 ・授業研究会の取組が児童・生徒の学力向上の成果として表れていない実態を改善する必要がある。 	△	継続事業ほぼ達成70%以上 又は新規事業達成不十分50%以上
		34	伯耆町教育振興会事業 ・生徒指導	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導主任・主事を中心として、長期休業中の生活の決まりを見直すとともに、情報交換を行った。加えて、メディアのトラブルについて研修を行った。 ・児童・生徒のメディア利用の実態とトラブルの回避について各学校での対応を検討していく必要がある。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		35	学校計画訪問、行事訪問、講師訪問、本務者訪問	総務学事	各学校の運営状況及び授業実践の把握を行うため、各種訪問を行い、各校の課題改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校計画訪問 各小中学校1回 ・行事訪問(各行事参観, 各式典参列) ・講師訪問、本務者訪問 各学校1回 ・上記の訪問による各学校教育の見取りをまとめて、還元することができた。 ・教育委員による学校教育の見取りの結果を、今後とも学校に還元し、促進と改善を促していく必要がある。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		36	小学校施設修繕事業	総務学事	小学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 岸本小:体育館バスケットゴール修繕 二部小:体育館給水ポンプ修繕、更衣室シャワー修繕 溝口小:プール壁、プールろ過ポンプ修繕 ・予算等との調整もあるが、緊急度を判断し、安全安心な環境整備のため、引き続き、損傷・老朽化した施設の修繕を行う。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
	②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備							

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(4) 安全安心で 質の高い教育 を支える教育 環境の整備 (つづき)	② 安全安心で 質の高い教育 を支える教育 環境の整備 (つづき)	37	中学校施設修繕 事業	総務 学事	中学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 岸本中:コンピュータ教室埋込照明修繕 溝口中:灯油ボイラー取替修繕 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		38	学校安全体制整備 推進事業	総務 学事	小学校において、実践的な事例に対応できる学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制を整備するためにスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区ごとにスクールガード・リーダーを配置。定期的に学校・通学路等の巡回、児童・生徒への指導、学校への助言等を行った。 ・今後もスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を継続し行う。今後、後継者の人材確保を検討していく必要がある。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		39	伯耆町教育振興 会事業 ・学校事務	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善、情報の見える化、コミュニティ・スクール理解という3点を重点として、定例会を開いて取組の進捗を確認した。 ・コミュニティ・スクール化に事務共同実施がどのように関わりをもつかについて、具体的な取組を検討する必要がある。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
2-(1) 生涯を通じて 学ぶための 環境の整備	① 生涯学習の 推進	40	地区公民館との 連携	公民館	地区公民館との連携を強化するため、公民館定例会(各館長と生涯学習室職員が参加)を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習室と各公民館で定例会を開催し、行事内容の打合せや業務内容などの相互調整により、業務の連携を図った。(毎月1回各公民館持ち回りで開催) ・円滑な業務連携を行うことができた。 ・情報交換により、有効な事業を他の公民館が実施するなど、良好な連携が図れており、継続して実施することが必要 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		41	生涯学習まちづくり 推進事業	公民館	生涯学習に関する各種学習情報や発表の場を提供することで、生涯学習への参加を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・CATV、町広報等を活用しての情報提供、学習相談 ・ほうき生涯学習ニュースの発行(毎月) ・伯耆町HPで生涯学習に関する催し物、情報提供 ・生涯学習ニュースがわかりにくいという指摘を住民からいただいたため、表示方法について検討を行い、公民館事業と同好会事業を見分けやすくすることができた。 ・四館の公民館同好会(教室)募集チラシをまとめて、区長便で全戸配布した。 ・今後とも住民のご意見に耳を傾けながら、より伝わる広報活動に心掛ける必要がある。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業				評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要		主な成果等
							主な課題・改善方針・今後の展開等
		42	図書館管理事業	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館関係部門の連携を強化するため、図書定例会(図書館長と図書館職員、生涯学習室職員、二部・日光公民館長、文化センター職員が参加)を開催する。 ・町民の図書館への声や意見を集約し、町民に役立つ図書館にするために、図書館協議会を開催し図書運営について協議する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間12回(月1回)の図書館連絡会を開催し、図書館の活動内容を確認するとともに、改善すべき点について話し合いを持ち、より良い環境づくりを推進することができた。 ・年4回の図書館協議会を開催し、幅広い年代の代表に参加していただき、図書館の活動について話し合いの場を持ち、建設的な意見をいただくことができた。協議会委員で学校図書館の視察に行き、学校図書館との連携についてさらに推進することができた。 ・協議会等で図書館活用に関する幅広い意見をいただき、各年代の需要に応じて図書館を活用していただきたいと努力しているが、いくつかの課題が挙げられる。図書館から離れた地域の方の利用が少なく、町民の中の不公平感が感じられること、障がい者の方の利用が少ないこと等である。今後、需要のあるところに出かけていく、移動図書館等の開設を考えていきたい。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		43	図書館振興事業	図書館	<p>利用者のニーズに応えるという図書館サービスだけでなく、親しみやすく、かつ開放的な施設として、また町づくり、人づくりに役立つ施設として、新規事業を加えながら、各年代への読書推進に努める。特に子供たちの読書活動の推進や利用しやすい環境づくりに向けて各種事業を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1)子育て支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業(年12回) ・ブックセカンド事業 ・図書館にこにこおはなし会、乳幼児出前お話し会・就学前児童お話し会、保育施設への本の配送 (2)学校支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・団体貸出し及び本の配送 ・土曜事業) ・お話し会・朝読書読み聞かせ ・職場体験受入れ・ビブリオバトル塩津 (3)読書推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの読書週間事業 ・読書グランプリ (4)高齢者支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・出前図書館(年5回) ・あたまイキイキ音読教室(年20回) (5)広報事業 <ul style="list-style-type: none"> ・図書つうしんの発行 ・HP掲載 (6)研修事業 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県図書館大会への協力、発表 ・他の図書館視察 ・総合的学習と図書館活用について <p>【溝口図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布絵本ちくちく教室の開催(20回) ・木彫り教室(小学生対象) <p>【岸本図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホットケーキミックスコンサート(読み聞かせと音楽のコラボ企画) ・おはなしのもりスペシャル <p>・図書館らしい事業づくりとは、本づくり、おはなし会、音読教室など図書館資料を活用した事業であると考えて、取り組んでいる。また子どもの読書活動の推進はそのまま子育てに直結している。子育て支援として、読み聞かせの効果やスマホによる子育ての弊害についても広く啓発していきたい。町健康対策課等と連携しながら、子育てセミナーに図書館から出かけていくなど、子育て支援にも参加していく。布絵本ちくちく教室も少しずつではあるが、本として完成し、ボランティアの協力を得て、幼児・児童・生徒や障がいのある方にやさしい本として使用していただいている。地道な歩みであっても継続することにより、図書館の特徴として息づいて、図書館の利用も進んでいる。29年度の子育て推進活動が認められ、文部科学大臣表彰をいただいた。今後とも、子どもの読書活動だけでなく、各年代の読書活動を推進していきたい。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(1) 生涯を通じて 学ぶための 環境の整備 (つづき)	① 生涯学習の 推進(つづき)	44	鬼の館運営事業	生涯学習	本町の文化拠点として、文化に直接触れる機会の提供、各種団体の研修や町内サークル等の発表の場として文化団体の支援・利用促進及び施設の維持管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・建築後20年以上経過し、特に空調機器の故障が目立った。逐次修繕を行った。 ・多目的トイレに、ベビーチェア・ベッドを設置した。 ・使用頻度の少ない、コンサートピアノの有効活用のため、2日間に渡って、ピアノを希望者に開放した。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		45	青年の家管理事業	生涯学習	青年の家を維持・管理及び壁紙の張り替え等を行い、社会教育の場として提供することにより、社会教育の促進を図る。	平成29年度、溝口児童クラブ新築に伴い施設を廃止した。	●	未実施事業 20%以下
		46	社会教育主事等の育成	生涯学習	生涯学習事業の推進を図るため、社会教育委員・社会教育主事の資質向上及び新規資格取得者の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・資質向上のため各種研修会に参加するとともに、事業の企画立案を行い、経験を積むことができた。 ・社会教育委員の活動が近隣の自治体にはない活発な活動と意見交換により、町の社会教育が好転していると感じられる。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		47	高齢者教室交流事業	公民館	各公民館の高齢者教室合同研修会の開催により、日頃の学習成果の発表を行なうと共に、相互の親睦と交流を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・伯耆町内の4つの公民館合同の研修会を開催し、講演会、発表会、交流会を開催することができた。 開催日 6月29日(金)10:00～15:00 会場 鬼の館 参加者数 172人 ・4つの公民館の高齢者教室学級制の機構による文集「だいせん」を作成・配布した。 作成部数 300部 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		48	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)	岸本公民館	年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供した。また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。	<ul style="list-style-type: none"> ・松栄学級(高齢者学級、受講生55名)は、10回の開催で延べ342名の参加があった。小学校や他公民館の高齢者教室との交流も行った。・成人講座は5回の開催で延べ65名の参加があった。・家庭教育支援講座は、「ヒメボタル観察会」を開催し、18名の参加があった。・男性講座「楽しみ隊」は、2回の開催で延べ26名の参加があった。 ・松栄学級は、年々受講生の数が減少している。 ・アンケートを反映し、町外研修や参加してみたい講座を実施する。また、送迎バスを運行していること等周知を図る。 ・成人講座及び男性講座は、土日の開催を検討する。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
		48	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)(つづき)	溝口公民館	年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供した。 また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ・貴寿美学園(高齢者教室) 町内外研修 計12回開催 延べ377名(昨年443名)参加。高齢者へ他機関と連携して様々な分野から学びの場を提供し、生きがいや健康づくりと合わせ、他の公民館との交流促進を図った。また、未就学児対象の講座や親子で活動できる教室(ベビーマッサージ教室、スマホカメラ講座等5回開催)にも取り組み好評を得た。また、布絵本づくり体験教室を月2回開催し、参加者アンケートでの振り返りは満足度が高い。 ・昨年からの成人講座として、手作り教室を4回(昨年4回)開催し、延べ70名(昨年50名)の参加があった。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
二部公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・学園生の高齢化に伴い、会員は減少傾向にある。引き続き継続して呼びかけを行っていききたい。学園生や住民のニーズを捉えながら、学びの多い研修・講座を企画していききたい。 						
日光公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・多々楽学園(高齢者教室) 町内外研修 計15回開催 延べ328名参加。高齢者の学びの場を提供し、生きがいや健康づくりを図ることができた。 ・女性学級 13回 延べ171名参加。成人女性を対象とした講座等を開催し生涯学習の場を提供し、会員相互の親睦を図ることができた。 ・多々楽学園・女性学級ともに、事業への参加者が増加傾向にあり、引き続き会員等のニーズを捉えながら、学びの多い研修・講座を企画していききたい。 						
		49	社会教育委員	生涯学習	社会教育並びに図書館事業の推進のために法に基づく委員を委嘱し、社会教育施策等について、事業計画・事業実施結果等の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・日光学園(高齢者教室 受講生46名)では、町外研修(2回)・健康教室・人権学習等、計10回 延べ175名の参加があった。 ・ふるさと学級では、先進地視察(1回)・歴史探訪(2回)で延べ52名の参加があった。 ・日光学園生の高齢化により、会員が減少している。 ・住民ニーズに合った魅力のある事業内容を検討していききたい。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
				<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会として、政策提言を行った。 ・社会教育委員会の開催 2回 ・意見交換会の開催 2回 ・社会教育委員会議規則を設けておらず、会として不明確な部分があるため、平成30年度を目標に規則を作成する。 			

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(1) 生涯を通じて 学ぶための 環境の整備 (つづき)	① 生涯学習の 推進(つづき)	50	図書館協議会委員	図書館	・図書館事業の推進のために法に基づく委員を委嘱し、事業計画・事業の実施結果の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館協議会を年4回開催し、広く地域の方の意見を聞くことができた。計画推進の後押しをしていただくことができている特別企画やテーマ展示など意見をいただくことができ、サービスの向上に役立っている。 ・開館、閉館時間のあり方など課題の焦点化が行われたが、公民館との一体化について困難な点が多く、解決に至っていない。 	△	継続事業ほぼ達成70%以上 又は新規事業達成不十分50%以上
	② 生涯スポーツの 推進	51	スポーツ推進審議会事業	総合スポーツ公園	教育委員会のスポーツに関する諮問及び町のスポーツ推進に関する事項について研究協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度における計画の進捗状況報告及び次年度に向けての計画実施(案)について協議するため、審議会を1回開催した。 ・計画の進行管理及び次期計画策定に向けたアンケート調査をH30年度に実施 ・施策実施に向けての検討及び関係団体との連携強化 	△	継続事業ほぼ達成70%以上 又は新規事業達成不十分50%以上
		52	スポーツ推進委員事業	総合スポーツ公園	委員を委嘱し、町内のスポーツ振興・普及を図る ・町内体育行事の運営、協力 ・生涯スポーツの指導、普及啓発 ・総合型地域スポーツクラブの運営	<ul style="list-style-type: none"> ・郡、県、中国研修会等に参加し指導委員としてのスキルアップが図られた。(年4回) ・町の体育行事等運営協力のほか、「ほうきスマイリースポーツクラブ」事業の企画・運営を行った。 ・夏休み中に小学生が集落で行うラジオ体操の指導を行った。 ・研修で学んだ内容を実践できる企画の検討 ・スポーツ推進委員の認知度アップ対策 ・夏休み中に児童が行う早朝のラジオ体操に出向いて指導する。(地区を増やす) ・委員の高齢化のため新規委員の勧誘が必要 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		53	スマイリースポーツクラブ支援	総合スポーツ公園	スポーツを通じて地域住民の健康増進・技術体力の向上を目的とする総合型スポーツクラブであるスマイリースポーツクラブの運営に必要な経費について補助金を交付し、活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブの独自事業及び受託事業として各種教室8事業、大会等5事業及び町内保育園やPTAなどへの指導者派遣を実施し、住民の体力向上やレクリエーションの普及に寄与した。また、ジュニアクラブとの連携により、多くの子どもたちに専門競技以外のスポーツ等を実施する機会を提供することができた。 ・H29より新たに、「まめまめクラブ」を町から受託して実施。 ・クラブ運営はH28年4月に法人化した。(一般社団法人) ・会員増加に向けての企画立案。 ・町民への認知度を向上させるための広報活動。 ・指導者の確保及び指導者研修の充実 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
		54	オールジャパン ジュニアトライアス ロンin伯耆補助事 業	総合 スポーツ 公園	全国の小学生を対象にトライアスロン競技を開催するための事業費の一部を助成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年8月20日に23回大会として開催 大会エントリー者数は252名で昨年より44名減であった。大きな事故やトラブルはなかったが、バイクコースにて転倒があった。 ・事故が起きないように十分な運営体制を構築する。 ・トライアスロン教室を毎年開催しており、未経験者を中心にバイク操作等の指導を行っている。事故防止のため、継続して実施する。 ・参加者が多くなると事故や熱中症の可能性が高まる。適正規模を250名程度に設定し、持続可能な大会を目指す。 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		55	伯耆町駅伝	総合 スポーツ 公園	旧溝口町から実施されている1チーム5名による駅伝競走大会である。地元の絶大な協力をいただきながら、役員や参加者が一体となって運営されている、地域に密着した大会として開催。	<ul style="list-style-type: none"> ・予定どおり開催し、日光地区の協力による汁の振る舞いも好評だった。 ・開催場所の変更に向けた検討。 ・アップ・ダウンがあり小学校中・低学年には厳しいコースではある。しかし、交通量は比較的少なく、安全なコースである。 ・日光地区の風物詩的行事であり、日光地区の合意がある限りは現状維持が妥当と考える。 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		56	町内体育施設管 理運営事業	総合 スポーツ 公園	町内の社会体育施設である体育館・武道館・町民グラウンド・総合スポーツ公園・すこやか村や溝口中学校夜間グラウンド施設等の管理運営を行う。 また、管理運営に必要な備品・機材を整備する。	<p>各施設利用者数(前年比較)中学校部活利用は除く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設 (町体育館・町武道館・町グラウンド、すこやか村) 28,252人(3,833人減) ・総合スポーツ公園 35,582人(3,792人増) <p>社会体育施設は、平成29年度に溝口体育館改修工事期間中は閉鎖のため減少した。 スポーツ公園施設は、平成28年度に海洋センター改修工事期間中は閉鎖したため、平成29年度は増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理機材保守点検 ・利用者に対する利用時間の厳守・利用後の施設清掃等の徹底。 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(1) 生涯を通じて 学ぶための 環境の整備 (つづき)	② 生涯スポーツ の推進(つづ き)	57	伯耆町体育協会 補助事業	総合 スポーツ 公園	所属各部の運営、町スポーツ大会の開催等、 スポーツ活動の中心的団体の支援を行う。 ・専門部運営補助(8団体) ・町民対象のスポーツ大会開催(8事業) ・スポーツ優秀賞・功労賞の表彰 ・郡体、県民スポレク等の大会参加	平成29年度から「ほうきスマイリースポーツクラブ」にスポーツ大会の運営を委託した。 各大会とも大きな事故もなく予定どおりに開催することができた。町民スポーツ活動の中心組織として、年間を通してスポーツ活動、大会運営に寄与した。 従来の町体育協会に属する各専門部への運営補助は、「ほうきスマイリースポーツクラブ」から行った。 ・県民スポレク等各種競技大会へ参加 ・平成28年度末をもって町体育協会は解散して「ほうきスマイリースポーツクラブ」に統合した。 ・「ほうきスマイリースポーツクラブ」への統合済。円滑な運営に留意する。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		58	体育施設改修事 業	総合 スポーツ 公園	快適な環境で運動できるよう体育施設の修繕等 を行う。	(主な施設修繕) ・溝口武道館照明修繕 ・岸本武道館玄関ドア修繕 ・溝口多目的グラウンド倉庫扉修繕 ・すこやか村立木伐採撤去 ・海洋センター給水ポンプ修繕 ・海洋センターボイラー修繕 ・公園遊具修繕 ・公園管理機械修繕 (施設備品購入) ・溝口体育館体育器具等(更新) (業務委託) ・芝生等更新作業委託及び野球場内野段差解消 ・スズメ蜂の巣除去 (改修工事) ・溝口体育館大規模改修工事 ・野球場の本部席に雨漏りが生じている。特に分電盤に雨水が侵入し漏電が発生。平成30年度に対策を講ずるための改修工事を行う。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		59	各種スポーツ団体 補助事業	総合 スポーツ 公園	伯耆町ゲートボール協会並びに伯耆町グラウ ンドゴルフ協会活動経費の一部を補助する。 ※町大会運営や郡、県大会等さまざまな大会 に参加されている。	・生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供することができた。 ・今後も生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供できるよう、継続的サポートが必要。補助対象経費の算定基準において、団体別に差異が生じているので基準の統一化を図る。(H29年度から統一化を図った。)	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		60	地区運動会・その他イベント開催事業	岸本公民館	町民総スポーツの中心的な事業として運動会を開催し、子どもから高齢者までの参加により地域の連帯感、親睦を深めた。実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会岸本地区大会 10月1日に開催。岸本地区町民のスポーツの中心的な事業として開催し、健康増進と親睦、地域の連帯感を深める交流活動に寄与できた。 ・中学生ボランティアが19名、一般ボランティアの参加が9名あった。 ・各集落から実行委員を選出いただき13集落が参加、実行委員及びボランティアの方々のご協力によりスムーズに実施できた。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
				溝口公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会溝口地区大会 10月15日に開催する予定であったが、雨のため中止となった。溝口地区の町民のスポーツの中心的な事業として開催し、健康増進と親睦、地域の連帯感を深める交流活動に寄与するように行った。実行委員会を組織し、中学生ボランティアの協力を呼びかけた。前年度の課題を実行委員会にて協議し、第3日曜日開催とし、課題解消・競技内容等の改善に努めた。 ・今後も協議の見直しを進めていくとともに、子どもから高齢者までみんなが楽しみ、親睦が図れる運動会にしていく必要がある。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
				二部公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会二部地区大会 10月1日実施 二部地区の町民のスポーツの中心的な事業として開催し、競技内容も工夫し、健康増進と親睦、地域の連帯感を深める活動に寄与することができた。 ・二部地区のスポーツ・健康事業として、二部地区活性化推進機構主催による健康ウォーキング・グランドゴルフ大会、カローリング大会を開催し、健康増進・交流に寄与することができた。 ・町民運動会をはじめ、二部地区活性化推進機構や地域住民との連携した事業が定着してきており、継続した連携事業を実施していきたい。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(1) 生涯を通じて学ぶための環境の整備(つづき)	② 生涯スポーツの推進(つづき)			日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会日光地区大会 10月15日開催 日光地区の町民スポーツの中心的事業として開催し、健康増進・親睦・地域の連帯感を深める交流活動に寄与することができた。実行委員会を組織して中学生ボランティアの協力を得るなど住民の協力により実施した。 ・悪天候のため体育館で実施。 ・伯耆町駅伝大会 10月9日開催 44チームの参加があり、日光女性会の豚汁や参加賞のりんごで日光の自然の恵みをPRした。また、交通整理員の派遣を各集落で対応してもらった。 ・グラウンドゴルフ大会 6月11日開催 日光地区協議会の主催事業 参加集落は少なかったが、健康増進と親睦に寄与した。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
2-(2) 町全体で取り組む青少年の健全育成	① 町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備	61	青少年育成伯耆町民会議運営支援	生涯学習	地域全体で青少年の健全育成の推進を図ることを目的に、町民会議を支援し各種事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会(2回)の開催 ・青少年育成伯耆町民大会の開催(1月28日、参加者88人) ・町民あいさつ運動の実施(4回) ・マナーアップさわやか運動への参加(2回) ・夏休み町内巡視の実施(6回) ・少年を守る店啓発事業(45店舗) ・コンビニ成人雑誌陳列状況調査 ・車用ステッカーの配布(26枚) ・「家庭の日」標語の募集(応募数230点) ・家庭教育講演会、研修会の開催 ・通学合宿(10月、4・5・6年生参加者27人) ・高校生ユースセミナーでのボランティア、交流事業等 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		62	成人式	生涯学習	明日の伯耆町を担う若者たちが、社会人として新たなスタートを切る節目に、成人を祝福し激励する記念式典を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> と き:8月15日/新成人出席者92人 出席率77.3% と ころ:鬼の館 ・記念品贈呈・記念講演・記念撮影 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
		63	通学合宿事業	生涯学習	「青雲寮」で子ども達が共同生活を行いながら通学することにより、子ども達の協調性や社会性を高めるとともに、親への感謝の気持ちを養うよう努める。	と き:10月1日(日)~7日(土) ところ:青雲寮 対象学年:4~6年生 参加者数:27人 ・対象を4~6年生にすることにより、縦の繋がりが出来、良い意味で緊張感が生じた。 ・定員以上の申し込みがあり抽選で落選の方があったため、次年度も落選した方が申込をするようであれば、優先的に受け入れる等の対応が必要。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		64	高校生ユースセミナー	生涯学習	高校生が自ら事業を企画することで自主性、責任感を育て、他校の高校生と交流し、仲間づくりを行い、地域と一緒に活躍する高校生の育成を図る。	町内の各種イベントへのボランティア参加や高校生同士の交流会を開催した。 (高校生参加者数) ・岸本きないや祭 5人 ・ユースセミナー交流会 6人 ・溝口公民館まつり 5人 ・活動のリーダーとなる人物を発掘・育成し、活動の充実を図る。 ・継続的に事業を行えるよう、新規参加者の確保について、工夫が必要。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		65	読谷村教育交流	生涯学習	沖縄県読谷村と伯耆町の子どもとの交流を通じて、それぞれの伝統文化に触れるとともに、子どもの健全育成に寄与する。	夏:7月28日~31日 沖縄県読谷村を訪問し、様々な体験・交流活動を行った。 伯耆町参加者数 小学生12人、高校生2人 冬:2月9日~11日 伯耆町でスキー等体験・交流活動を行った。 伯耆町参加者数 小学生12人 ・相互交流を行ったことで、子どもだけでなく保護者同士の交流につながった。 ・以前この交流に参加した子が沖縄の大学に進学しており、今回の交流でもボランティアで子どもの見守りをしていただけた。このことは、継続して事業を行った結果であり、子どもたちの模範となる身近な先輩を育成することが出来た。 ・参加者の確定を早めに行い、学習会等事前準備の充実を図らなければならない。 ・ジュニアリーダーの高校生の確保が課題。	△ 継続事業ほぼ達成70%以上 又は新規事業達成不十分50%以上
2-(3) 人権尊重のまちづくりの推進	① 人権教育・人権啓発の推進	66	人権教育推進事業	人権政策	人権教育推進を目的に、人権教育推進員を配置し、人権に関する諸問題を学び・理解していただくための各種事業を行う。	人権問題の学習啓発事業の企画運営及び、各種学習会を実施した。 ・ひまわりセミナー(10回参加者386人) ・人権教育プログラムの作成(社会教育編) ・人権啓発標語募集事業の実施(応募数850点) ・各種研修会・大会への派遣(5か所参加者8人) ・アンケートでいただいた意見を反映させ、新たな人権課題への取組が必要。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(3) 人権尊重のまちづくりの推進(つづき)	① 人権教育・人権啓発の推進(つづき)	67	人権教育・啓発推進協議会補助金	人権政策	伯耆町人権教育・啓発推進協議会の運営・活動を支援するとともに、各種事業を開催し、人権教育・啓発の推進を図る。	(1)人権教育・啓発に関する調査研究及び実践 ・各種人権週間広報啓発活動 ・明るいまちづくり懇談会開催事業(43集落524人) ・明るいまちづくり懇談会事前研修会(3公民館164人) ・人権啓発標語の募集及び表彰(応募数850点) (2)研修会及び講演会の開催 ・人権・同和問題実践研究交流会(参加者178人) (3)資料の刊行及び啓発 ・人権カレンダーの作成・配布(町内全戸・企業) ・伯耆町人権だよりの作成・配布(町内全戸) (4)関係機関団体との連携 ・研究校の指定と授業研究会の開催 ・各種研修会・大会への派遣(8か所参加者54人) ・各種団体の活動支援 (5)その他目的達成に必要と認めた事業 ・「呼ぶ会」実行委員会の活動支援 ・事業実施後の反省会により、改善点を洗い出し、次年度事業に向けた取組を行う。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		68	男女共同参画推進事業	人権政策	家庭並びに社会生活における活動等への男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画推進計画を基に、各種事業を実施する。	・所管が、H28から総務課となったが、各種イベントの中で広報・啓発に努めた。 ・総務課と連携した事業の展開が必要となる。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		69	町営住宅修繕事業	人権政策	老朽化が進行する町営住宅の修繕を行ない、住環境の充実を図る。	・緊急修繕及び部分修繕(14件)行うなど、町営住宅の適切な管理を行うとともに、住宅使用料の納付を推進した。 ・町営住宅の適切な管理を行うため速やかな修繕に努める。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価		
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等			
						主な課題・改善方針・今後の展開等			
		70	文化センター管理運営事業	文化センター	人権問題の解消と啓発に向けた事業の実施や地域住民の自立と、よりよい生活を図るため文化センターの核として活動に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地区学習会(小中:5~3月、月2回) 小学生(5人) 27回(H29年度から不定期にたくしクラブも参加) 中学生(1人) 17回 ・相談事業:随時。 ・各種教室・講座:4教室2講座 延べ60回 484人参加。 ・ミニデイサービス事業:ゲーム、レクリエーション、創作活動、会食などを取り入れ、楽しめる憩いの場として定着した。地域活動への参加につながり新しい仲間が増えた。延べ12回 227人参加。 ・百円ランチ:12回 176人。 ・交流研修事業:町内外からの研修を受け入れて地区の歴史・体験・活動などを伝え、人権意識の高揚や差別解消に努めた。研修会8回 参加者260人。 ・その他児童館事業、講演会、センターだよりの発行等を実施し、人権教育推進や地域活性化に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年度に向け教室等参加者の減少がみられる事業の整理・見直し(新規教室の開設、事業の整理統合)を行った。 ・文化センターでの小中学生の人権学習について、特に地域改善も含め地域の歴史等を教えることについては、まだ課題(差別の助長、寝た子を起こす論的な考え)があり、検討が必要。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
2-(4) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造	① 文化財の保存と活用	71	地域文化活動の支援	生涯学習	豊かでうるおいのある生活を創造するため、芸術文化の振興・育成を図り、町内芸術文化事業を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化活動の支援のため、伯耆町文化振興会の体制整備と、各種事業を実施した。 ・第13回伯耆町民音楽祭 8/28(日) 鬼の館 来場者300人 ・第13回伯耆町文化展 11月11日(土)~13日(月) 鬼の館 来場者300人 ・くろぼくコンサートの支援 自主運営団体の鬼の館ホワイエでのコンサートを支援した。 ・鬼の館コンサートピアノ試弾 館の有効活用を探る社会実験的な取組として、コンサートピアノの試弾きで解放を行った。2日間延べ18人 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化展を引き続き鬼の館で行うなど、鬼の館を文化の拠点として利用することが出来た。 ・鬼の館を様々な用途で使用できることを住民へ周知する必要がある。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		72	埋蔵文化財調査事業	生涯学習	開発に伴って事前に発掘調査を行い、埋蔵文化財の有無や性格を確認し、事業者との調整を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・福島城発掘調査(福島地区砂防堰堤建設工事に伴う文化財調査) H29.4.21~H30.3.30実施 調査面積 1,353㎡ 調査結果 平安時代末~鎌倉時代初の鉄関連炉跡、戦国時代の福島城の遺構(炉、柵列等)を検出し、記録した。また、報告書を作製するため、遺物(コンテナ約120箱)の整理作業、自然科学分析を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福島城調査で検出した平安時代末~鎌倉時代初の鉄関連炉跡は、県内では9例目の発見で、貴重である。このため、平成29年6月4日現地説明会を開催し、調査結果を一般に周知した。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(4) 芸術文化の 振興と豊かな 人間性の創造 (つづき)	① 文化財の保存と活用(つづき)	73	文化活動団体支援事業	生涯学習	町内の芸術文化活動を行う団体への支援を行ない、文化活動の振興に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼面太鼓振興会・岸本風神太鼓振興会へ補助を行い、後継者育成、演奏技術の向上等活動を支援した。 ・町内文化活動団体の練習会場として、鬼の館を無償で貸し出した。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		74	文化財保護事業	生涯学習	本町にある指定文化財等の維持管理及び地域の景観的な変遷を記録するための定点撮影を行う。 国指定文化財 1件 県指定文化財 1件 町指定文化財 12件	<ul style="list-style-type: none"> ・県委嘱の文化財保護指導員による巡視 ・文化財周辺の草刈り・除草等の維持管理 ・矢田貝家の古文書等整理のプロジェクトを支援 ・町内文化財の整理・展示 ・文化講演会及び町内文化財展示 1/13～19 (展示観覧者140名:講演会参加者25名) 3/31 (展示観覧者33名:講演会参加者33名) ※本年度は、講演会と文化財展示をセットで開催し、参加者の文化財についての関心を強く喚起した。これは、かなり効果があったとみており、今後もこの方向性を維持したい。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		75	文化振興会補助事業	生涯学習	町内の文化活動の活性化のため、伯耆町文化振興会を支援する。 会員数51人(平成30年3月現在)	各専門部会それぞれで活動を行える体制づくりをし、住民自ら各種事業を企画運営する体制を整えた。 ○総務部会 ・文化講演会(参加者15人) ・視察研修(参加者23人) ・会報13号発行(全戸配布) ○美術部会 ・文化展(来場者173人) ○音楽部会 ・町民音楽祭(来場者300人) 新・HOUKI MUSIC FEST2017～ジャズ～(来場者180人) ○歴史文化部会 ・後醍醐天皇伝承の地を訪ねて(参加者28人) ・大山領内の札所を訪ねて(参加者13人)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業「HOUKI MUSIC FEST2017～ジャズ～」を開催し、来場者の9割以上の方から次年度以降の開催を望む声を頂いた。 ・各部員が自発的に活動するような体制づくり、意識改革が必要。現在は部会により、偏りがある状況。 	△

計画分類		主な事務事業				評価		
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要		主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		76	写真美術館管理運営事業	美術館	美術館の運営を通じて、植田正治作品の紹介や地域の写真芸術・文化の振興に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真家 植田正治及びその作品について来館団体への説明を積極的に行い、作品や写真芸術への理解を深めてもらう取り組みができた。 ・年間説明団体 35団体 約800人 ・入館者は20,514人(過去5年間の平均入館者数 23,105人) ・企画展3回、地元TV放送、その他雑誌掲載 ・車椅子の更新及び、受付にタブレット端末を設置し来館者に対する環境改善を行った。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
	② 地域芸術文化の振興	77	写真芸術・文化振興事業	美術館	写真芸術・文化の振興に資することを目的に、フォトコンテスト、ワークショップ、作品説明、フォトスクールを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・財団の事業としてフォトコンテスト、ワークショップを行った。フォトスクールについても11講座 232名が参加した。町内小中学校に加えて、町内外の団体からの参加もあった。美術館職員の支援によりスムーズな運営となり、また、事業実施にあたって指導、助言を行った。 ・フォトコンテスト、フォトスクール、ワークショップとも参加者のニーズや運営の現状を把握するとともに、写真愛好者の底辺拡大のため宣伝活動を引き続き行っていく。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		78	地区文化祭・まつり開催事業	岸本公民館	<ul style="list-style-type: none"> 岸本公民館きないや祭として11月18・19日に開催した。 ・昨年度から公民館の展示の多くを岸小体育館に移したことによってできたスペースで、発表会と体験コーナーを開催した。(発表会は4団体、体験コーナーは6団体の参加があった。) ・「ぜんざい」の無料提供は好評だった。「豚汁」の配布を希望する意見が多かった。 ・岸小体育館の入場者数が前年度比75%増だった。(1,037名) ・公民館で活動をしている教室・同好会に、引き続き発表や体験コーナーの参加を呼びかける。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	
				溝口公民館	<ul style="list-style-type: none"> 公民館を主たる会場として、文化祭・祭を実施し、公民館の同好会、保育園児から高齢者まで地域住民の生涯学習の成果発表の場を提供した。 実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。 ・溝口公民館祭 3月18・21日開催 溝口彼岸の市の関係で、一日飛ぶ日の開催となった。実行委員会を組織し、住民参画による運営に務めた。運営面で、中学生ボランティアの協力があり助かっている。例年作品展示中心のまつりであったが、同好会や各教室の高齢化により展示作品も少なくなってきたため、発表の場を設けた。出演サークルが一丸となって発表へ取り組み、頑張りを多くの方へ賞賛してもらえる場となったことは良かった。 昨年度から、作品の有無にかかわらず、全部の同好会に実行委員会に入ってもらい、会場設営・撤去に実行委員に声掛けをし、参加していただくことができた。 ・各種同好会や教室の減少傾向がある中、広く町民から作品を募集することにより、一層町民の公民館まつりという意識化を図り、公民館同好会が中心となり、地域を巻き込んで、自分たちのまつりという機運を高めていきたい。 ・学年により温度差があり、中学生ボランティアの確保が難しい。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
			地区文化祭・まつり開催事業(つづき)	二部公民館	公民館を主たる会場として、文化祭・祭を実施し、公民館の同好会、保育園児から高齢者まで地域住民の生涯学習の成果発表の場を提供した。	<ul style="list-style-type: none"> ・第34回たたらまつりを2月24日～26日開催 延べ722名来館。地区住民・公民館教室生の作品展示、農産物販売、特別展示「日本の文化 和装」等を行い、交流・親睦を図った。 ・開催にあたっては、地域住民の積極的な参画により、まさに「地域住民手づくり」にまつりができた。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		日光公民館		実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主体となった「二部地区手づくり」のまつりが開催できており、引き続き地域住民主体のまつりを企画運営していきたい。 ・第38回日光ふるさとまつり 3月10日～11日開催 来場者延べ430名 地区住民・各種同好会の作品展示・体験コーナー・農産物の即売・日光そば・餅つき等の催しの他に義方公民館の協力を得て海産物の即売を行ない、地区住民の交流が図られた。 ・実行委員会では地区住民の意見を十分に取り入れて、事業内容を検討する。 	△ 継続事業ほぼ達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上	

○報告書個別事業に対する有識者の意見等

本意見は、報告書を社会教育委員、図書館協議会員、小中学校校長及びPTA会長、スポーツ推進審議会委員、地域学校協働本部実行委員に送付し、無記名で意見書を返送いただいたものを掲載しています。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
1	伯耆町教育振興会 事業・地域教育	<p>・CSや「夏休みのお楽しみ」等の様子について、各校からのたよりや活動の実際については伯耆町TVによって周知は進んでいる。やはり個々の関心の温度差が大きいのではないかと啓発が必要。</p> <p>・転入職員の地域めぐりも、そろそろよいのではないのでしょうか？(夏季休業中の研修も増えてきているので精選するとNO.32にあるような悉皆研修を優先したいです。)</p> <p>・「夏休みの楽しみ」は年々内容が充実してきているように思う。子どもたちも楽しんで参加している。</p> <p>・各地域での研修は、各地域の文化を知ることができ、有意義であると思います。</p>
2	家庭学習の手引き 配布事業	<p>・昨年度の矢部先生のお話など、手引きに込めた思いは十分理解できる。配られた手引きの活用例などを示してそれらの良さを広げたい。</p> <p>・講演会を聞き、すごくためになる資料だと思いました。なかなか自分から進んでということにならない。</p> <p>・作成に全担当が関わることで自分なりに活用できるものにする事ができると、活用していこうという意欲につながる。現在は、与えられたものと感じていると積極的な活用に結び付きにくいと思う。</p> <p>・「家庭学習の手引き」と「家庭教育ハンドブック」があるようだが、現在は後者が主に使われていると思う。</p> <p>・カラーの冊子で、子どもたちの学習の時間やねらいが、きちんと明記され、親としてはとても助かる。</p>
3	学校運営協議会運 営事業	<p>・最近、コミュニティスクールという言葉をよく耳にしますが、意味がよく分からないという人がかなり多いと思います。機会あるごとにわかり易く説明してほしい。</p> <p>・認知度は年々高まっている。委員さんの学校に対する愛情・情熱には頭が下がる思いがしている。</p> <p>・今までの地域のあり方と、どう違うかがまだわかってない。やってほしいことリストなどを配布し、保護者、地域の人に直接声掛けが必要。</p> <p>・CSディレクターの働き、どういう方がされているか。</p> <p>・全小中学校でスタートし、個々の学校ごとに独自のスタイルでの運営により保護者、地域の参画を広めていけたらよい。デメリットとの指摘があることは、よく話し合っていくことが大切。</p> <p>・今後は学校運営協議会とPTAとの連携が重要になってくると考える。更なる会の充実を図っていきたい。</p> <p>・コミュニティスクール化により、創意ある学校づくりがそれぞれの学校で進められているようである。</p>
4	学校支援地域本部 事業	<p>・学校支援ボランティアに登録している人が以外と少ないように感じます。町内には各種特技を持った人は多いと思います。それぞれの学習・行事に合う人材を確保出来たらいいですね。</p> <p>・学校での学習や行事に支援ボランティアは欠かせない存在である。各校のコーディネーターの働きなしでは成り立たない。</p> <p>・地域と連携された学習が学校内・地域間(学校外)で活発にされることを望む。</p> <p>・人間力向上のために多様な体験・交流が大切であることを教員も意識してボランティアを要請する授業を考えていくことが大切。</p> <p>・この事業の運営はコーディネーターの働きが重要である。今後の人材の確保に取り組んでいただきたい。</p>

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
5	子供の体験活動事業(公民館)	<p>・各公民館で子ども達、地域住民を交えて色々な事業を行っている事は大変良い事で、これからも続けてほしい。また、日光地区の様に町外の親子との交流も大変有意義だと思えます。</p> <p>・各公民館ともに、子供の体験活動を色々工夫されて、活動を推進していると思う。子供の移動手段の確保、複数館で連携して事業を開催すれば、他校生との交流並びに多種多様な経験ができ、更なる効果を得られるのではと思考する。</p> <p>・参加児童に偏りはあるが、参加した子どもや保護者は充実感や達成感を持っているようだ。</p> <p>・いつも同じメンバー。より広く参加しやすいように、デマンドバス送迎も考えるべき。</p> <p>・夏休み中に、子どもたちが学校ではなかなかできない体験学習を企画してみてもは。</p> <p>・公民館教室の夏休み体験に今年は5名(女兒のみ)の参加があった。色々興味を持ってくれる事はうれしい。最後に“さようなら”の一言がなかったのは残念でした。</p> <p>・各公民館で工夫されていて参加している子どもたちも満足そうである。今後も続けてもらいたい。</p> <p>・様々な活動を計画されていると思う。休み中の子どもの居場所にもなっている。</p> <p>・夏休みの工作ぐらいは無料で希望の子どもたち全員にさせたらどうか。</p> <p>・夏休みの活動案内は、一冊にまとまっており、とても見やすい。親としてもスケジュールを合わせ検討しやすい。</p>
6	子供の体験活動事業(学校)	<p>・学校の教員では活動が深まりにくいところを、その道の達人にかかわっていただくことで、より充実した活動となっている。</p> <p>・発表する時間を作ってくださいたりと工夫しておられ、子どもたちは色々な学びがある。作るということだけじゃなく、その人の生き方も学んでほしい。</p> <p>・地域の特徴的な事業(現代的家庭で廃れている)を体験できる事業を望む。(文化の伝承と保存)</p> <p>・学校の授業時数確保も大変となってきているので、体験活動を見直し、価値ある活動を行っていききたい。</p>
7	家庭教育支援事業	<p>・講演会等、参加すれば得るものも多いと思うが、参加者がいつも決まった人のように感じるがどんなものか。</p> <p>・喫緊の課題があれば町内全体で統一した取り組みを行ってもよいと考える。(各園、学校に任せないで)</p> <p>・他の講演会等と時期が重なることが多く、PTAの動員に苦慮している。似たものは兼ねて行う等の工夫を願う。</p>
8	伯耆町教育振興会事業・保小中一貫教育	<p>・保→小→中とほぼ同じメンバー(特に溝中校区)が進級していく伯耆町において一貫教育の重要性は言うまでもない。保小、小中の教育交流の場がもっとあってよいのではないかと。</p> <p>・保・小・中と連携された教育実践が認められるが、中・高と連携させた将来を見通した教育成果が望まれる。高校側からの説明会等、進学後がイメージできる内容。</p> <p>・中学校区の取り組みを行うことはよいが、人権教育の授業公開もあり、6年間に3回の公開を行うことになる。落ち着いて教育にあたるよう開催のあり方を人権教育と共に見直す必要があるように思う。</p> <p>・一貫教育を推進していくためにはまず、教職員の連携が重要だと考える。そのための取り組みを充実させていきたい。</p> <p>・内容、つながりを保護者にもっとアピールできたらと思う。大会等を聞かれても参加者は、当日何かしらの関係者が多く、用事が終わったら、ごっそり抜けられていた。後々の会まで足止めできたら良いですね。</p>

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
9	伯耆町教育振興会 事業・就学支援	<ul style="list-style-type: none"> ・他市町に比べ、よりきめ細やかな支援体制となっている。 ・多くの有益な情報交換が行われている。今後も継続的に行われることを望む。
10	小中一貫学力・人間力定着促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強が苦手な子どもに対する手立ては、ある程度充実してきている。今後は、得意な子どもをどう伸ばしていくかが課題。 ・小中一貫した教育計画のもと、その促進を計る(語学教育等) ・各校水曜日が研修日となっているので参観が難しい面があるので、予算を活用する場合は、水曜日を外すことができないか。また念に1回は水曜日以外の日で公開授業研を行えたらよい。
11	教材、教具、教育 備品及び教育施設 整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のハード面については、大変恵まれていると感謝している。 ・お金の面だけでなく人材も配備しては？用務員の方(シルバーさんの働き場所) ・町内の教材のデータベースを作り、年間数日しか使わないような教具を他校でも活用できるようにするとよいと思う。
12	外国青年招致事業	<ul style="list-style-type: none"> ・英語に慣れ親しむためにも“本物”のアメリカ人、イギリス人と触れ合える意義は大きい。加えて、小中共通の先生の存在は、中1ギャップ軽減につながっている。 ・ALT、とても積極的な方で、いいなと思う。 ・小学校では、外国語の指導力にも差があり、ネイティブな発音に触れることができることは、とても助かっている。 ・田舎で外国人とのかかわりも少ないため、外国の方との交流は貴重だと思う。
13	運動部活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・部活の種類減少に歯止めがかかればよいと思う。 ・大変いいことであるが、ほかのスポーツについても地域の方で指導できる方はどうか。 ・専門的指導があると、子どもたちにとってよい。
14	特別非常勤講師配置事業	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の時間数では正直使いにくい。学校支援ボランティアが充実してきているので、そちらに移行していくのでは。 ・学習支援は、ボランティアではできないのでは？やはり専門性のあることには、お金をかけないと・・・。 ・どれだけの成果が得られたのか、具体的にわかれば・・・。 ・県の予算でつけていただいた講師の先生の指導は助かっている。県の予算枠外の予算がつくと、より充実するものと考える。
15	伯耆町教育振興会 事業・人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・同一中校区、町内での共通理解が必要。 ・人権教育を一番大切にしていきたい。センターの学習会、専門のスタッフをお願いしたい。町の職員では限界、いや一人の人としてそこでも成長していただきたいが・・・。 ・文化センターの役割や学習会のあり方について、さらに踏み込んだ議論が行われることを望む。
16	青雲寮管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・もし存続させるのなら、エアコン完備が安全で使いやすくなると思う。 ・青雲寮の管理主体を町あるいは教育委員会としていただくよう望む。 ・もともと冬期使用目的の寮なので、仕方ないとは思いますが、夏場も使用できるよう食堂にクーラーがあるとよい。食中毒が恐ろしい。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
17	伯耆町教育振興会 事業・学校保健	・食育の充実は、子どもだけへの指導では不十分、保護者もまきこんだ“食育”としたい。
		・食育については、就学前の健診等での周知も大切となるが健康対策課？との連携がある かもしれません。
18	栄養教諭による食 指導	・学校ごとの解題に応じての指導は大変だと思う。均一に行うのではなく、今年の重点は○ ○小(中)と焦点化してもよいのでは？
19	学校給食施設管理 運営事業	・安心・安全な食べ物を和食中心で健康的に。中学生の適切な量はあってる？たりない？と 聞いたことがある。
		・備品についてはある程度、年数を決め期限が来たら交換するようにしては。
20	学校給食費補助事 業	・保護者にとって補助の増額はうれしいと思う。給食費の公会計化を進めるべきだと思う。
21	食材供給連絡協議 会との連携	・地産地消と共に学校給食メニューが家庭でも味わうことができる方があればいいので は。(レシピを家庭でも給食メニューを家族が共有する。)
		・町内産の利用を中心に考えていくことは、とてもよいことだと思う。
22	スクールソーシャル ワーカー活用事業	・いつもきめ細やかな対応をいただき感謝。
23	特別支援教育支援 員配置事業	・低学年に常時2名体制で指導ができることに、大変感謝している。
		・児童の実態に応じて適切に配置していただけると助かります。
		・人材確保のためには、その待遇の改善が必要であると思う。必要な予算措置等を行って いただきたい。
		・発達障害の子どもたちに適切な指導ができるように学校以外にも児童クラブ職員にも指導 が必要に思う。
24	教育支援センター 運営事業	・その保護者さんへのアプローチも必要かと。
		・不登校等の問題を抱える子どもや保護者にとっても助かる事業だと思う。
25	少人数学級実施事 業	・町独自の支援はありがたいです。課題の不登校については、各学校でどのような策を講じ ているか、PDCAサイクルの点検が必要だと思う。
		・今後もぜひ引き続き行っていただきたい。
26	就学援助事業(要 保護、準要保護)	・本事業を実施されていたことを初めて知りました。引き続き、適正な援助を願いたいと思 います。
		・生活保護家庭の子どもが支援を要する場合、諸検査等を受ける県線的負担が大きく、適正 な指導を受けられない場合がある。その際には、金銭的支援ができるようになってほしい。
27	就学援助事業(特 別支援教育就学奨 励金)	
28	中学校区の児童生 徒を語る会	・子どもたちを15年間、見守るという観点からも必要。
		・保護者も参加すべきでは？
		・小学校から中学校への連携がなされている。もし問題が生じたなら引継ぎから対応策まで を検証し、次の一手を考えていくことが大切。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
29	就学支援検討会	・より専門的な意見がいただけるので、よりよい指導が実施できる。
		・お世話になっている方、多いので助けられていると思います。
		・早期支援コーディネータが配置され、保小の接続もより丁寧に行えるようになった。
30	学校評価研修	・結局、評価して・・・それからどやっていくかを考えていかなければ・・・むずかしいですね。
		・地域住民対象に学校評価アンケートを実施されていますが、内容に正当な評価が項目があるように思います。“地域住民に対して”にふさわしいアンケート内容を検討していただきたいと思います。
		・学校運営協議会の方も参加しての研修はよいと思う。多くの方の参加を望むなら夜の開催が妥当かもしれません。
31	学校図書整備及び図書館司書配置	・学校司書の配置は、子ども達の読書活動や学習への支援を行う上で、大変効果的。
		・子どもたちは、この方のおかげでたのしく借りたりしているようです。
		・書籍だけでなくパソコン等を活用した検索や調達方法を充分した体制が必要と考えられる。(機器の導入と利用の充実)
		・図書館司書の配置により図書館経営が充実している。
		・学校図書のデータベース化とバーコードによる図書貸し出しの管理ができるよう必要な予算措置等をしていただきたい。
		・図書館管理システムの早期導入を求める。
32	教職員研修会(全教職員対象)	・町内の子どもの課題に応じた同じ話を全教員が聞くことは、大変有意義。
		・夏休みの研修は、県・町、学校団体での会が目白押しとなっているので整理が必要となっている。H30のような内容を悉皆で行うことは意義があると思います。
33	学校要請訪問、学校随時訪問	・大変ですが、学力向上につなげていただきたい。
		・学力向上については各校種、規模に応じて課題が違うので、それに応じた取組みを行うことが大切であると考え、それに対しての支援・指導をお願いしたい。
34	伯耆町教育振興会事業・生徒指導	・差支えない程度で、どんなトラブルが発生したのか知りたい。
35	学校計画訪問、行事訪問、講師訪問、本務者訪問	
36	小学校施設修繕事業	・いつも素早い対応をしていただき感謝している。
		・子どもたちの学ぶ環境をととのえていただき、ありがとうございます。
		・額の大きな施設改修の予定を大まかでもよいが立案してあるとよい。
37	中学校施設修繕事業	・優先順位を付けるなど作業大変ですが、頑張ってください。
38	学校安全体制整備推進事業	・定期的に登校、下校を見守っていただき安心できている。暑い中、寒い中など大変だと思うが、本当に感謝している。
		・通学路の安全確保は地域全体で支えてもらう必要があり、学校運営協議会が中核になることも必要ですが、町職員及びその家族にも率先して協力していただけたら角が広がるように思う。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
39	伯耆町教育振興会 事業・学校事務	・共同実施により他校とも連携が取りやすい。また、業務の効率化は、働き方改革にもつながるのではないかと。
40	地区公民館との連携	・各公民館で活動している同好会の活動の場を、年に一度でも小中学校の教室を使って行うようにすると地域住民と学校をつなぐ機会になるかもしれない。(学校が呼んでくれなくても、積極的なアクションをとってはどうか)
41	生涯学習まちづくり 推進事業	・八郷地区に公民館がないため、他地区に比べて生涯学習に参加する人が少ないように感じますが…。集会場の設定をどこかにできませんか。(例えば、どこかの地区改善センターでも使用するとか…。)
42	図書館管理事業	・各図書館共蔵書管理がしっかり出来ていると思います。また、親子で参加できる催し等が企画されていて良いと思います。それと、一番は職員さんの対応がすごく良いことです。これからも続けてください。
		・雑誌なども活用しています。お金もないので色々と利用させていただき、ありがたいです。
		・ある町村では移動図書館をされているところがある。本町も試みてはどうか。
43	図書館振興事業	・各事業が充実している。町内の子どもたちを大切にしていることがよくわかる。(ブックスタート～ブックサードの取組み等)
		・あたまイキイキ音読教室は会を重ねるに従い、皆さん上手になられ、大変イキイキされています。歌声も違ってきました。ぜひ継続していきたい事業です。
		・子育て世代への支援が充実していることはよいと思う。中高生ボランティアによる読み聞かせ等の催しなどがあると大好きの子どもの自己肯定感を育めるかもしれません。
44	鬼の館運営事業	・費用対効果の側面と文化拠点の側面のバランスはむずかしいですね。
		・今後の改修計画と利用方法の具体的な方針について、早急に検討していただき周知していただきたい。
45	青年の家管理事業	
46	社会教育主事等の 育成	
47	高齢者教室交流事業	・4館館長の連携と綿密な計画・企画力をもって研修会を開催したことが、参加者に受け入れられたものと思う。
		・文集「だいせん」は教室に通われる方のモチベーションをあげているのでしょうか？反対に負担になっていることが、参加人数の減少になっているということはないでしょうか？
		・見に行くと、どの方も生き生きと学習成果を発表されていました。
48	生涯学習支援事業 (各種教室・講座の 開催)	・各公民館で生涯学習を開催しているが、高齢化が進み参加者が減る傾向にある。何とか高齢者でも参加しやすいような企画を考える必要があるのでは。
		・時代背景からして、70才位まで働く人が多く、会員の新規加入が減少していると思う。最善の策は思い浮かばないが、粘り強く継続した加入の呼びかけが必要と思う。
49	社会教育委員	・案内がある行事等に参加するくらいの役目だったと思って受けました。何をすることが社会教育委員のすべきことか分かっておりませんが委員の皆さんと協議すれば、何かできることがあるかもしれませんね。
50	図書館協議会委員	・今現在、図書館が子どもたちの居場所になっている地域が多い中、ムズカシイ所はあるが、本に囲まれ、触れる機会があることは、うれしいことだし、そこに色々学ぶこともあるのでは？入室禁止になったこともあったが、そこで、子どもは学ぶこともあるだろうし、うるさいから、態度が悪いからと排除するのではなく(怒ってもらうことはありがたいこと)何か対策を練っていく必要があると思った。
51	スポーツ推進審議 会事業	・小学校のプールは飛び込みを行うのには危険性のあるプールなので社会体育の方で安全な飛び込み指導を行えるようにできないものか(日吉津村のように)

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
52	スポーツ推進委員事業	・指導員として各学校の放課後に陸上・プールの指導に出向いてほしい。町民のための指導員なのだから、教職員の方の負担を減らし、本来の学習指導にも力を入れられるのでは。
53	スマイリースポーツクラブ支援	
54	オールジャパン・ジュニア・トライアスロンin伯耆補助事業	・ジュニア・トライアスロンは毎回事故なく続いており、これからも続けてほしい。 ・H30、チームの部が廃止されたのは残念。子ども同士の関わりも増え、1部の競技しかできなくても参加する喜びを感じられるよい取り組みでだった。年齢差もあり平等性がないかもしれないが町内限定での実施で町内から多くの参加を期待したい。
55	伯耆町駅伝	・日光地区で開催されている駅伝大会は、他の場所と違い安全なコースで、また、地区住民の協力があり、運営がスムーズに行われている。これからも続けてほしい。 ・町内外から認められている行事として、可能な限り継続すべき大会である。 ・唯一、子どもたちが経験できる駅伝という種目、大変ですが続けていただきたいです。 ・多くの町民が参加しやすいように平坦なコースにすることが生涯体育の考え方からは妥当ではないか。
56	町内体育施設管理運営事業	・溝中ナイター設備は、多くのライトが消えており、サッカーはできるとしても野球をするには相当暗い状況だろうと思います。早急な処置が必要と考えます。 ・町民がいつでも楽しく運動ができる整備を。遊具の点検は定期的に行う必要がある。
57	伯耆町体育協会補助事業	・町体育協会機能をスポーツクラブに移管しての運営方針は評価できる。民間活力を生かした事業展開が望まれる。
58	体育施設改修事業	・維持管理大変ですが、頑張ってください。
59	各種スポーツ団体補助事業	・イベント型活動と共に日常型スポーツ体験の方策が求められる。小集団での継続的スポーツ活動の方策、出前型連携等。
60	地区運動会・その他イベント開催事業	・高齢者に対する身体運動機能会の充実、文化センターで管理運営事業で行われている「百円ランチ」との組み合わせで、運動と食とのマッチングができるのでは。 ・小学生、中学生、高校生が参加や活躍できる場を設けるようにしたらよいと思う。参加者は少ないかもしれないが。
61	青少年育成伯耆町民会議運営支援	・本町の規模ならではの事業も多く、子どもたちをみんなで見守っているということが、よく伝わっている。 ・家庭の日を定着させたいのですが、なかなかです。放送やTVでも啓発されては。 ・それぞれの取組みの効果を考えながら精選したらどうか。
62	成人式	・夏の成人式が定着しているので、現行のままでよいと思う。 ・成人年齢18歳に引き下げられることへの対応の案を早めに考えて、町民の意見を聞いてはどうか。
63	通学合宿事業	・参加可能人数が少ないなどの短所もあるが、参加した家庭にとっては、親も子も成長できるよい機会となっている。 ・ボランティアで四苦八苦しているようなので、島大生のボランティアを望むなら大学の夏休みに計画をする必要があると思う。(2月位には大学への登録があると集まりやすい) ・合宿の一週間で子どもたちの成長が見える。皿洗いすらしたことのない子どもたちが、自分のことを行っていき自主的となる。続けてほしい。
64	高校生ユースセミナー	・高校生がボランティアする現場に中学生も参加し、中高の交流を行うこともあってもよいのではないのでしょうか。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
65	読谷村教育交流	・よい事業だと思うが、受け入れる方の覚悟がなかなかつかないのが現実です。
66	人権教育推進事業	・人権啓発関係の事業を開設し、参加者もそれぞれに集まっている様子で、続けて事業を行ってほしい。 ・ひまわりセミナーのプログラムなど、よく考えられており、現代の人権問題を考える上で、たいへん貴重な機会となっている。
67	人権教育・啓発推進協議会補助金	・12月の人権教育研究大会が学校中心の会となっているように思う。役場の取組みや企業の取組みなど、町全体の取組みを出し合いたい。実践研究交流の趣旨を考えると、役場や民間での人権教育についての実践を交流するの必要を感じます。
68	男女共同参画推進事業	
69	町営住宅修繕事業	・もう少し修繕をしないと…。住みたいと思う住宅になっているのか…。
70	文化センター管理運営事業	・毎回通っている子たちのためにも、もう少し具体的にセンター中心になり運営しないと。小学校へ任せるべきではない。そのために文化センターにお給料を払って人員配置しているんだから。他の県のやり方学んでほしい。 ・地区学習会の在り方について、ここ数年、変革期となっている。目的を達成するために、組織体制の見直しをよく話し合っていくことが大切だと思う。
71	地域文化活動の支援	・町外から移住してこられた方が持ち込まれた芸術文化などを町内に広げていくことで町内住民の豊かな心を育めるかもしれません。(特に八郷地区にはペンションを始め、いろいろな個人がおられるように思います。)また、地域の魅力を再発見するようなイベントや催しを行い、住民が地域を誇りに思えるようにしたらよいと思う。
72	埋蔵文化財調査事業	
73	文化活動団体支援事業	・主体的に行っておられる各団体とのよい関係を維持して行くことはよいことだと思う。 ・後継者育成、重要だと思います。
74	文化財保護事業	・矢田貝家の古文書を拝見したが、地域にある宝を再認識できた。
75	文化振興会補助事業	・未成年世代が参加している団体についてはNO.73の事業のような支援もあってもよいかもしれません。
76	写真美術館管理運営事業	
77	写真芸術・文化振興事業	・フォトコンテスト、フォトスクール、子どもたちは楽しみの1つです。 ・フォトコンテストの賞などに、町内限定の賞もあってもよいのではと思ったりします。そうすると、地元の参加も増えるのではないのでしょうか。また公民館事業と連携したフォトスクールもあってもよいのではと思います。
78	地区文化祭・まつり開催事業	・各公民館共、それぞれ地域の特性を生かして文化祭、まつり等を開催されていて大変心強いです。これも町の支援なくては出来ないとしますので、これからも支援してほしい。 ・教育委員会、4館職員が、準備等を含め協力運営し公表を博したことは良かったと思う。二部公民館は、毎年、特別展示を行い住民手作り感を出していることを称賛したい。 ・地域住民との交流の場と考えると、八郷地区でも行えるとよいのかもしれない。

○その他教育行政全般についての意見等

教育行政全般に関する ご意見・ご感想	・多岐にわたる困難な業務を実施され、成果を上げていることに感謝致します。
	・子供←人権的に「子ども」表示が望ましいのでは？子供だったり、子どもだったり…。教育委員会なので、人権学んでほしいです。
	・子どもたちをこの環境で育てて頂き、本当に感謝しております。親もありがたと思っています。より良くしていき、町内の子どもたちみんなが成長できることを願っています。今は、なかなかインターネットなど親子で会話も減り、外で遊べば苦情があり…。子どもが順調な育ちができずにいます。その中での子育てもムズカシくて…。でもいつも協力的な方々に恵まれ、なんとかがんばっていこうと思っています。
	・各事業を詳細に分解・分析しての評価活動は共感できる。成果が見られる事業に対して、より積極的支援をすることによって波及効果が得られるのではないかと。
	・学校ボランティア(読み聞かせ、ミシン)で小学校に行く事はあるが、中学校はない。孫も大きくなり教育への関心がうすれている。地域の子どもを見るとき“おはようございます”“こんにちは”のあいさつは良くできている。
	・学級数増によりエアコン使用教室が増加するために増えることが明らかにもかかわらず、前年並みの予算しかつかない。日々の電気使用の様子を一番知っている現場の声が届かないのは不満。マイナス10度の日もあったので、そういう日に現場に足を運んで体感していただきたい。
	・多様な地域住民の声を把握・反映する方策が随所に進められていると思う。
	・全項目多いので点検・評価ざっくばらんです。幅広い事業を良くやっておられると思います。

●教育委員会の活動(点検及び自己評価)

施策	番号	項目	概要	主な成果等	評価		
				教育委員自己評価等(課題・改善方針・今後の展開等)			
教育委員会の活動	1	(1)教育委員会の会議の運営状況	教育委員会会議開催 ・教育委員会会議規則に基づき、定例会を毎月1回開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・規則等に基づき、定例会12回、臨時会2回を開催し、案件数102件(報告33件、議事28件、協議16件、その他25件)を審議した。 ・規則に基づき、適正に処理されている、評価したい。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	
		教育委員会会議の運営上の工夫	・慎重な審議と会議の効率化を図る。(定例会の議案または資料を事前に配布する)	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の効率化のため、議案等資料を1週間前に送付した。また、H28から始めた委員協議についても継続し、最新の教育事情等について意見交換を行い見識及び共通理解を深めた。 ・議案等資料を1週間前に届けていただき、スムーズに審議が出来る。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	
	2	(2)教育委員会活動の保護者や地域住民への情報提供・情報発信	広報活動の状況	・教育委員会の自己点検と評価等をホームページ等で掲載し、住民への情報提供を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・会議開催について町防災無線にて周知し、H29は8名の会議傍聴人があった。また教育委員会の自己点検及び評価等を、毎年9月議会にて報告するとともに、町ホームページにて掲載し、情報提供を行った。 ・規則等に基づき、適正に処理されている、評価したい。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		議事録の開示・公開の状況	・開示請求があれば、議事録の開示を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録の開示等請求があれば開示を行うが、H29は請求なし。 ・議事録の概要は町ホームページで公開されている。 ・教育委員会そのものが公開なので、議事録の開示請求があれば非公開部分は別として問題ない。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	

施策	番号	項目	概要	主な成果等		評価
				教育委員自己評価等(課題・改善方針・今後の展開等)		
(3)事務局の管理運営	3	教育委員会の事務局管理運営	・事務局の事業実施状況を把握し、助言を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施状況で、必要なものは、その都度教育委員会に報告し、助言等いただいた。(議会提出案件、標準学力学習調査結果、全国学力・学習状況調査結果など) ・事務局の人数が少ないなかで、よくやっていただいている、評価したい。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
(4)町長部局との連携	4	教育委員会と町長部局との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・町長との懇談会を実施する。 ・総合教育会議を開催し、町長部局との連携等、協議・検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H29は、総合教育会議を1回開催し、次年度の予算要求、教育事情等に関して協議・検討を行った。 ・総合教育会議は、部局間での連携事業などを行ううえで重要な会議であり、予算に直結するため、しっかりと事務局と議論してのぞまないといけない。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
(5)教育委員の自己研鑽	5	学校訪問	・小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。学校運営の取組を聴取する。また学校行事等へ参加する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問を行い、小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。また学校行事等へ参加した。(運動会、体育祭、学習発表会、文化祭、卒業式・入学式など) ・学校訪問だけで、学校を把握することはできないと思う。それ以外での状況把握が大事だと思う。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
	6	所管施設の訪問	・体育施設・社会教育施設等を訪問し、要望等現場の声を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・H29は、植田正治写真美術館、総合スポーツ公園で定例会を開催し、あわせて当該施設の事業進捗状況等を報告した。 ・社会教育施設、体育施設に出かけ状況を聞き、把握することは大事。引き続き年2回くらいは実施する方がよい。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上